

令和2年10月15日

各位

九州大学 大学院農学研究院 資源生物科学部門
動物・海洋生物科学講座 水産増殖学分野 教授候補者選考委員会
委員長 高須 啓志

九州大学 大学院農学研究院 資源生物科学部門
動物・海洋生物科学講座 水産増殖学分野
教授候補者の推薦について（依頼）

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本選考委員会は下記のとおり大学院農学研究院資源生物科学部門 動物・海洋生物科学講座 水産増殖学分野教授候補者を公募することになりました。つきましては、適任者をご推薦くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職・人数

教授・1名

2. 所属・専門分野

今回採用する教授は、大学院農学研究院資源生物科学部門 動物・海洋生物科学講座に所属し、大学院生物資源環境科学府 資源生物科学専攻 動物・海洋生物科学教育コース、および農学部生物資源環境学科 動物生産科学コース 水産科学分野担当教員となります。

当該職が担当する水産増殖学分野は、家畜生体機構学分野、動物繁殖生理学分野、畜産化学分野、代謝・行動制御学分野、家畜生産生態学分野、海洋生物学分野、水産生物環境学分野、アクアフィールド科学分野とともに動物・海洋生物科学講座を構成しています。当該講座は、陸・水圏における資源生物の持続的安定供給ならびに生存環境の保全を目的として、生物生産の基盤である生命現象の生理・生態学的解明、機能性物質の探索と健康科学への応用、生態系に配慮した生物生産システムの構築、多様な生物資源の生存環境保全等、生物資源の生産環境・生命科学に関する諸問題を多様な観点から解明する為の教育研究を推進することを目指しています。

当該部門、当該講座の目標を実現するにあたっては、水産生物資源の再生産機構の解明を通して、その持続的安定的供給に関すること、特に、環境調和型動物生産システムの構築ならびに多様な資源動植物の生存環境の保全と整備に関する教育研究が不可欠です。

その中でも、

- 1) 沿岸から外洋における有用水産資源生物、特に魚類の再生産過程と加入過程を中心とする生活史の解明ならびに増養殖技術の開発
- 2) 水圏生態系の保全を基盤とする有用水産資源生物の持続的利用に関する学際的研究

3) アジア太平洋地域における未利用水産資源の開発, 増養殖技術の展開および持続的利用等の領域における教育研究を推進することがとりわけ重要です。またこれらの領域の教育研究に対する社会的な要求も大きいものです。

本選考委員会では, 上記の研究領域における優れた研究業績を有し, 先進的な教育研究を推進可能で, 当該講座の将来構想の実現に大きく寄与しうる方を求めます。

3. 採用予定時期

令和3年4月1日

4. 応募資格

博士の学位を有するとともに, 上記の領域1)~3)において優れた業績と該博な識見を有し, 学部および大学院担当教員として学生の教育や研究指導に熱意をもって取り組む方。

5. 担当授業科目

(1) 大学院

・大学院修士課程

(資源生物科学専攻 動物・海洋生物科学教育コース)

水産資源増殖学特論, 動物・水圏資源保全学(分担), 動物・海洋生物科学特別研究第一・第二(分担), 海洋観測乗船実習など

(国際コース)

Environmental and Ecological Science for Animal Production (分担) など

・大学院博士後期課程

(資源生物科学専攻 動物・海洋生物科学教育コース)

動物・海洋生物科学特別実験(分担), 動物・海洋生物科学特別講究(分担), 動物・海洋生物科学特別演習(分担) など

(国際コース)

Research training on Animal & Marine Biosciences (分担) など

(2) 学部

(動物生産科学コース)

動物生産科学概論(分担), 魚類学IおよびII, 動物生態行動学(分担), 水産増殖学, 水産増殖学実験, 水産生物学実験第一(分担), 乗船実習II(分担), 科学英語(分担), 卒業研究(分担) など

(国際コース)

Special Lecture on Advanced Topics of Agriculture 4

(担当可能な基幹教育科目)

基幹教育セミナー(分担), 課題協学科目(分担) など

なお, 英語による授業および研究指導も担当して頂きます。

6. 提出書類

(1) 略歴書

(2) 業績目録

I 原著論文(本人の氏名にアンダーライン, 本人が責任著者の場合は*を付す)

(著者名, 題名, 掲載雑誌名, 巻, 号, 頁もしくはDOI, 発行年)

Impact factorおよび被引用回数(database名)を書くことが望ましい。

(i) 査読付雑誌, (ii) 査読なし雑誌, (iii) その他 で区分すること

- II 著書（著者名，題名，発行所，頁，発行年）
 - III 総説・解説等（著者名，題名，掲載雑誌名，巻，号，頁，発行年）
 - IV 特許（発明者名，発明の名称，特許番号もしくは特許出願番号，特許登録もしくは特許出願年月）
 - V 学会での受賞（受賞者名，賞の名称，受賞内容，学会名，受賞年月）
 - VI 国際学会等招待講演（講演者名，講演題目，講演学会名，講演年月）
 - VII 外部資金導入実績（名称，研究課題名，期間，金額，代表・分担の別を記す）
 - VIII 教育実績（担当授業科目等）
 - IX その他（資格等）
- (3) 主要論文の別刷りまたはその写し（5編）
 - (4) これまでの研究の概要と今後の研究に対する抱負（1,500字以内）
 - (5) これまでの教育の実績と今後の教育に対する抱負（1,500字以内）
教育実績のない場合，今後の教育に対する抱負
 - (6) 上記（1），（2），（4），（5）の Word 形式の電子ファイルおよび（1）～（5）の PDF 形式の電子ファイルを保存した光ディスクあるいは USB フラッシュメモリ
 - (7) 推薦書
自薦の場合：自薦書および応募者の教育・研究等について問い合わせできる方2名の氏名および連絡先
他薦の場合：推薦書（2通）

7. 面接等

審査の過程で面接を行う場合があります。その際の旅費・滞在費は応募者の自己負担と致します。状況により，リモート面接を行う場合があります。

8. 勤務地

九州大学伊都キャンパス（福岡市西区元岡 744）

9. 提出締切

令和2年11月16日（月）必着

10. 提出書類の送付先

〒819-0395

福岡市西区元岡 744

九州大学 大学院 農学研究院

水産増殖学分野教授候補者選考委員会

委員長 高須啓志

電話：092-802-4581

E-mail：takasu.keiji.155@m.kyushu-u.ac.jp

書類は，「応募書類在中」と朱書きの上，書留またはそれに準ずる送付記録が残る方法で提出のこと。

11. 労働条件について

- (1) 業務内容：九州大学大学院農学研究院における教育・研究

- (2) 雇用期間：期間の定めなし
- (3) 試用期間：試用期間あり（3か月）
- (4) 就業時間，休憩時間，時間外労働：
専門業務型裁量労働制により7時間45分働いたものとみなされます。
- (5) 休日：土，日，祝日，12/29～1/3
- (6) 賃金：年俸制（令和2年4月1日導入の年俸制）
なお，年俸額については経験等に基づき本学の関係規程により決定します。
- (7) 加入保険：雇用保険，労災保険，健康保険，厚生年金
- (8) 募集者の氏名又は名称：九州大学大学院農学研究院

1 2. その他

- (1) 九州大学では，男女共同参画社会基本法(平成11年法律第78号)の精神に則り，教員の選考を行います。
- (2) 九州大学では「障害者基本法(昭和45年法律第84号)」，「障害者の雇用の促進等に関する法律(昭和35年法律第123号)」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(平成25年法律第65号)」の趣旨に則り，教員の選考を行います。
- (3) 九州大学では，平成29年7月より配偶者帯同雇用制度を導入しています。
- (4) 本研究院，学府，学部等の教育研究概要等は，ホームページ
(<https://www.agr.kyushu-u.ac.jp>)を参照してください。
- (5) 送付された資料は返却いたしません，選考以外の目的には使用しません。
- (6) 労働条件，その他勤務に関する詳細についての問い合わせ先：
九州大学農学部総務課庶務係 電話：092-802-4505